

食育と地産地消推進などを目的に 学校給食で小林産のぶどうを提供



細野小6年の黒木陸斗さんは「冷たくてとても美味しかった。ぶどうはフルーツの中でも特に好きなので、給食で食べられてうれしいです」と満面の笑み

9月8日、市内小中学校11校の給食で、本市特産品のニューピオーネ4600粒（約58匁）がふるまわれました。小林市地産地消推進協議会（東公徳会長）が、物価高騰の影響で生産コストが増加している農産物の需要の後押しや、子ども達が地元の農産物を食べることで、食育と地産地消を推進することなどを目的に提供されました。

子どもから大人まで夏を満喫 第2回シン・こばやし夏まつり開催

9月9日、第2回シン・こばやし夏まつりが小林駅周辺で開催されました。会場は地元事業者の出店やキッチンカーが並び、市内アーティストが出演するステージイベントなどで大盛況。駅北側ふれあい広場のキッズゾーンには、水鉄砲対決や重機体験などに多くの子どもが集まり、子どもから大人まで小林の夏を楽しみました。



同日はKITTO 小林の2階で昨年好評だったKITTO COOL おけけ屋敷も開催。一時は行列もできるほど人気で、会場には子ども達の悲鳴が響き渡りました

地域の防災力を高める 紙屋一徳防災フェスタ 2023

9月3日、地域住民の防災意識を高めようと、紙屋地区体育館で防災フェスタが開かれました。紙屋一徳まちづくり協議会（木下恒吉会長）が開催したもので、避難訓練と避難所運営訓練を合わせて実施。運営訓練では、段ボールベッドや避難所用屋内テントの設置体験、心臓マッサージやAEDによる救命処置訓練などが行われました。



防災フェスタには地域住民や消防団員など約100人が参加。訓練後は、県砂防ボランティア協会や防災士樋口弓子さんによる防災講話も行われました

自然塾「楽園里山」河川管理の推進で 国土交通行政功労表彰を受賞



渡邊代表は「団体は不登校で悩む子どもたちが自然とふれあうことで元気になればと思い立ち上げた。今後、より活動が広がっていくと嬉しい」と笑顔

7月19日、小林市内外の子供達に自然体験活動の推進をしている自然塾「楽園里山」（渡邊俊輔代表）が国土交通省九州地方整備局の国土交通行政功労表彰を受賞しました。同団体が地域の子ども達と行っている、河川の清掃活動や水質調査などの活動が、地域協働の河川管理の推進に寄与していると評価されて受賞につながりました。

欧州王者のプロ格闘家 寺田 耐さん タイトル獲得の喜びを報告



寺田さんはプロ格闘家として活動する一方、さまざまな事情で学校に通えなくなった子どもたちのための施設で、武道の指導者としても活動しています

本市出身でオランダ在住のキックボクサー寺田耐さんが、今年3月のタイトルマッチでヨーロッパ王者に輝き、8月24日、市長に喜びを報告しました。寺田さんは高校時代に空手日本一。卒業後は単身オランダへ渡り、腕を磨いてきました。現在、オランダ生活6年目。「ファイターとしてさらに上を目指したい」とさらなる活躍を誓いました。

4年ぶりの品評会で梨・ブドウの出来競う

8月29日、市果樹農業振興推進対策協議会（種子田浩一会長）の梨ブドウ品評会がありました。開催は4年ぶり、出品者は栽培技術や品質を競いました。【結果（優等のみ、敬称略）】■ニューピオーネ…種子田健太郎、■シャインマスカット…谷山正人、■豊水…種子田健太郎



電気設備をボランティアで点検

9月7日、小林地区電気工事業協同組合のボランティア活動が行われました。これは「電気使用安全月間」にあわせて20年以上続いている活動。当日は同組合員25事業所が、西諸管内の公共施設や街灯などの電気器具清掃や、不良個所の改修などを行いました。



小林市ボランティア連絡協議会が 防災べんとうを配布し防災を啓発

8月19日、小林市ボランティア連絡協議会が子ども食堂で防災べんとうを配布しました。市社会福祉協議会が毎月開催している子ども食堂内で行われたもので、防災を考えるきっかけにしてほしいと両協議会で企画。当日は約20人のボランティアが、小林市赤十字奉仕団の指導のもと災害時に使用する炊飯袋を用いた防災べんとうを110個配布しました。



ボランティアとして参加した押領司華実さんは「炊飯袋を使った防災食作りは大変でした。受け取った子ども達の防災意識が高まれば」と話しました

小さな子どもと一緒に親子で楽しむ クラシックコンサートを開催



親子で参加した平田愛子さんは「子どもたちが騒いでも大丈夫で、親子でゆったりと音楽を楽しむことができました」と感想を話していました

8月19日、文化会館で「はじめてのクラシック♪〜ピアノ〜」が開かれました。コンサートは、小さな子どもを連れて親子で一緒にクラシック音楽を楽しんでもらおうと、市教育委員会と（公財）宮崎県立芸術劇場が共同で開催。参加した13組40人は、大ホールのステージ上にマットを広げ、くつろぎながらピアノの音色を楽しみました。

2千発の花火が野尻の夜を彩る 第39回のじり湖祭



8月26日、のじりこびあで「第39回のじり湖祭」(同実行委員会主催・重松英輝実行委員長)が開催されました。地元園児による子ども神輿に始まり、ステージではせんぐまきや地元グループなどがダンス、太鼓を披露。途中、夕立でステージイベントが中断するハプニングもありましたが、フィナーレでは大迫力の花火約2千発が野尻の夜空を彩り、来場者からは大きな拍手が沸き起こりました。重松実行委員長は、「大小トラブルがあったが、成功することができて感無量。たくさんの人に支えられていると実感しました」と話していました。

Photo1 野尻建築士会によるせんぐまき 2 ステージイベントを楽しむ来場者 3 野尻在住の高校生4人が企画したフォトスポット 4 元気一杯に会場を練り歩いた子ども神輿 5 野尻の夜空を彩った大迫力の花火

迫力の音と光で来場者を魅了 第44回すき納涼花火大会



Photo 1 2社の花火師がコラボしたメインイベントの花火 2 会場への通路を照らす灯籠 3 元気良く子ども神輿を担ぐ須木中央保育園の園児 4 須木鳥田町地区の郷土芸能いちょう太鼓



9月16日、須木中学校のグラウンドを会場に、第44回小林市すき納涼花火大会(同実行委員会主催・富永圭一実行委員長)が開催されました。当日は天候に恵まれ、市内外から約4千人が来場。ステージでは須木中央保育園のダンスや、須木鳥田町地区の郷土芸能いちょう太鼓などが披露され、会場を盛り上げました。富永実行委員長は、「多くの人に集まっていたいただきありがたい。須木のさまざまな特産品を購入して、須木を盛り上げてほしい」とあいさつ。メインイベントでは、会場近くの川沿いから打ち上げられる花火が頭上高く夜空を彩り、会場では拍手と歓声が上がりました。



家族に囲まれて記念写真を撮る鶴丸さん。9月16日現在、市内には100歳以上の高齢者が87人(男性10人、女性77人)いらっしゃいます

県内最高齢の110歳 鶴丸百合子さんの長寿をお祝い

9月16日、敬老の日を前に介護老人保健施設みずほでお祝いの会が開かれ、宮原市長が市内最高齢の鶴丸百合子さんを表敬訪問しました。鶴丸さんは大正2年7月14日生まれの110歳で、県内で最高齢。鶴丸さんへ宮原市長から長寿をお祝いの賞状と記念の花(西諸県地区花き振興会提供)が贈られると、会場は拍手に包まれました。

地域への長年の尽力が評価され 県自治会(区長)連合会長表彰受賞

6月7日、市内区長経験者4人が宮崎県自治会(区会)連合会長表彰を受賞しました。受賞したのは中山南一さん(真方一区)、中村祐一さん(南西二区)、永田晃一区長(野尻3区)、山口健さん(野尻5区)。4人は平成25年4月から令和5年3月まで、10年以上区長を務め、地域自治の発展と地域住民の生活の向上に尽くしたことが評価されました。



受賞した中村さん(写真②左から1番目)は「10年間はあっという間だった。今後も区長会には引き続き地域のため頑張ってほしい」と話しました

不要になったスーツなど再利用 洋服の青山が防災毛布を寄贈

9月13日、洋服の青山などを運営する青山商事株式会社(青山理代表取締役社長)から市に防災毛布100枚が寄贈されました。毛布は店頭で下取りしたスーツなどをリサイクルし作られたもの。同社はSDGsの取り組みを自然災害の支援に役立てようと、全国の自治体に防災毛布を寄贈しており、県内では小林市が初めてです。



贈呈式で山根康一取締役(写真右)は「最近災害が増えており、さまざまな課題があると思うが、少しでもその課題への一助になれば」と話しました

東心館道場 豊永悠馬さん 剣道競技で全国大会へ出場



父親の影響で小学1年生から剣道を始めた豊永さん。「全国大会では、緊張せず楽しみたい。県代表として恥じないようがんばります」と意気込みました

9月13日、大阪府で9月17日に開催される第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に出場する東心館道場の豊永悠馬さん(東方小6年)が、市長に大会出場を報告しました。豊永さんは5月27日に開催された第38回宮崎県少年剣道錬成大会の小学生男子個人戦で3位となり、全国大会への出場権をつかみ取りました。